

わが学び舎 松高小



八代市立松高小学校
学校だより
NO. 12
令和4年1月18日
文責 校長 入佐正夫



明けましておめでとうございます。
今年もよろしくお祈りします。



保護者の皆様、地域の皆様、明けましておめでとうございます。
今年もどうぞよろしくお祈りします。また、松高小学校の子供たちがよりよく
成長できますようご協力とご支援をお願いいたします。

令和5年が子供たち、保護者の皆様、地域の皆様にとって素晴らしい一年になるよう祈念申し上げます。

「自分をのばす」令和5年にするために。

(始業式：校長の話より 2つ目以降の話はNO. 13に掲載)

令和5年が始まりました。新しい年になったことで、みんなは、
気持ちを新たにしていることだと思います。特に、新しい年の初め
は、特別な節目になります。

今までの自分自身を振り返り、新しい希望や目標をもってスタート
できるチャンスでもあります。令和5年も「自分をのばす」一年
間に、ぜひして欲しいと願っています。そのためには、もうちょっと
頑張れば、または、努力すればできそうな目標を決めて、それに向かって毎日
を過ごして欲しいと思います。自分自身の成長は、行動がよい行動に変わ
ることによって、必ず感じることができます。そのように変わること
によって、いつの間にか、周りの人から褒められることが多くなったり、
認められることが多くなったりします。そのような経験を重ねること
によって、自信が付き、多くのことに対して積極的にがんばろうという
気持ちになれます。松高小の全員にとって、一人一人が持っている
良いところをたくさん伸ばす一年になって欲しいと思います。



それでは、いつも言っている4つのことについて伝えます。

1つ目は、「いつでも どこでも だれにでも 笑顔で明るい元気なあいさつを
しましょう」です。あいさつは、よくコミュニケーションの一つであるとか、
礼儀の一つであるとか言われます。しかし、そればかりではありません。
あいさつは、その人の育ち方や経験と今の心の姿そのものを見せて
いるのです。

気持ちのいいあいさつを当たり前でできる人は、小さい頃からそのような
あいさつをすることを教えられ、自分自身で学び、身につけた人といえ
ます。

また、あいさつを大切にできない人は、自分自身も周りの人も大切に
することはできません。なぜなら、あいさつをするには相手があります。
つまり、あいさつは相手のことを考えてするものだからです。今年
は、松高小の全員が、相手のことを考えた気持ちの良いあいさつが
できるようになることを期待しています。